

平成16年度地域冷暖房技術研修会〈名古屋〉報告

平成17年3月3日、4日と2日間にわたり『第11回地域冷暖房技術研修会』を開催致しました。

第1日目は中部電力(株)東桜会館第二会議室で講演会を行ない、第2日目は半月前に開港したばかりの「中部国際空港熱供給施設」の見学会を行いました。

地球温暖化、ヒートアイランド現象などに対応すべき「都市生活環境の向上」「エネルギーの有効活用」など都市の環境対策は今や焦燥の課題となりつつあります。特に本年2月には京都議定書が発効し、具体的な地球温暖化防止のための実行策が求められ、我々地域冷暖房に携わる業界関係者としても益々その技量が問われてきております。

こうした中、本技術研修会では例年ない取り組みを取り上げました。第1日目午前中には搬送動力削減のベースとなる「配管圧力損失計算の歴史と最新の研究」を国土館大学齊藤先生に講義頂きました、海外の地域冷暖房の事例紹介としてマレーシア・シンガポールのプラントを講義いただきました。午後には当協会技術委員会の研究・WGテーマの講義として「新しいかたちの地域冷暖房」、「地域冷暖房のリニューアルにおける技術的課題」を発表しさらに「冷凍機の最新動向」としてトップランナー機器の最新技術開発状況をメーカー3社に説明いただきました。

当日は協会会員、熱供給事業協会会員さらには学生を含め例年より1割以上多い65名の参加があり、終日熱心に聴講頂きました翌日の施設見学にも多数参加頂くことが出来ました。これらは、ひとえに各講師の皆様の熱意とお忙しい中見学会を快諾下さった、中部国際空港エネルギー供給(株)の皆様のご協力の賜物であり、ここに深く御礼申し上げます。ここに、本年度技術研修会の概要と写真などを掲載し、その報告とさせていただきます。

【第1日目】

講義内容	講 師
開会挨拶	協会技術委員長 岡村 明彦
ご挨拶	中部電力 前田 敏雄
1. 「配管圧力損失計算の歴史と最新の研究」	国土館大学教授 斎藤 忠義
2. 「海外の地域冷暖房の事例紹介」	
1) クアラルンプール国際空港(マレーシア)	東京ガス 中根 伸一
2) バイオポリス(シンガポール)	日本設計 塚本 宏怡
3. 「新しいかたちの 地域冷暖房」	日本環境技研 桑原 淳
4. 「地域冷暖房のリニューアルにおける技術的課題」	高砂熱学工業 岡村 明彦
5. 「冷凍機の最新動向」	
1) 三重効用吸収冷凍機	川重冷熱工業 中島 邦彦
2) 高効率二重効用吸収冷凍機	日立空調システム 三善 信孝
3) インバータ・ターボ冷凍機	三菱重工業 関 亘
閉会挨拶	協会専務理事 佐々木 健

【第1日目】 東桜会館での講演



前田部長によるご挨拶



講演風景



会場風景-1



会場風景-2

 【第2日目】 中部国際空港熱供給施設見学会



名鉄中部国際空港駅



中部国際空港



ビデオによる地冷プラントの紹介



蒸気タービン駆動ターボ冷凍機+発電機 (630RT+250kW)



蒸気ボイラ(15トン/h)



冷・温水蓄熱槽(900m³)



冷却塔(2,400RT×5基)



ガスタービンコージェネレーション
(電力:4,740kW、蒸気:10.46ton/h)



地域配管



中央監視室:中央監視設備